

CLUB NEWS



本欄はJARLの登録クラブの行事等を掲載しています。次号「冬号」の原稿締切りは、11月20日となっております。

クラブニュース

原稿入稿のお願い

- 文字数最大=18字詰め50行程度
- 締切=掲載希望月の前々月の20日
- 記号の意味
- 時日時 場所 内容 周波数(モード) 申込(申請、書類提出)先 提出書類(方法) 問い合わせ先 参加資格
- ☑Eメールほか 注意 ク=クラブ 費用・申請料ほか 締切
- コンテストなどの結果は入賞局のみ掲載

EVENT

イベント

根室市文化祭公開運用

◇根室アマチュア無線クラブ O1F-1-1
場根室市総合文化会館 晴11月2日・3日
10:00~15:00, 4日10:00~14:00 周7/10/14/21MHz <モード>SSB・CW ※当日の電波状態により変更あり ○「北方領土アワード」を発行しています 関Eメールにて jh8hfc@jarl.com Ja8frn@jarl.com まで

CONTEST

コンテスト

第4回 A1 CLUB STRAIGHT KEY コンテスト

◇A1 CLUB 10-4-145 晴10月27日(日)15:00~20:59JST 関国内・国外でCW運用可能なアマチュア個人局 ※シングルOPであればクラブ局、ゲストOPも可 周3.510~3.530MHz/7.010~7.040MHz <モード>CW(A1A) <呼出>CQ A1 TEST <QSYルール>○呼ばれた局は交信終了後1kHz程度以上を自安としてQSYしなくてはならない ※同一周波数に居座り連続CQを禁止するのが目的 ○呼んだ局は呼んだ周波数で1交信に限りCQを出して交信することができる ○同一周波数で、呼ばれる立場の局としての連続交信を禁止 <出力>200W以下 <使用電鍵>縦振り電鍵またはその代替物に限定 ※代替物とは、全て手操作にて短点・長点符号を出すものとし単一接点を使用する物(例えば、パドル・バグ等の片方の接点のみ利用は可) <コンテストナンバー>RST+使用電鍵

の名称 <使用電鍵の名称>○英数字のみの組合せで3~8文字(名称に括弧やダッシュ等の記号を使わない) ○名称は、各自にて任意の英数字で3~8文字の範囲内で創作して構わない ※全て数字のみは認めない。必ず1文字以上はA~Zの英数字を入れる(例:HK-808→HK808, Sweden KEY→SWEDEN等) ○「使用電鍵の名称」がマルチ <得点>参加者が計算しログに記載する必要はありません。A1 CLUBコンテスト委員会が持っているプログラムにて全ての交信の照合をして下記の要領にて計算 ○ログ提出者同士でコンテストナンバーを照合し、相互が全て一致したものの2点 ○ログ提出者同士でコンテストナンバーを照合し、相手が受信ミスしているが自局は受信ミスしていないもの(片方向一致)1点 ○ログ提出者受信データからログ未提出者のマルチ(使用電鍵の名称)を照合し、一致したものの1点(ログ未提出者のマルチを照合:ログ提出者の受信データからマルチの照合を実施し自局以外の2局以上の受信データと一致したものの) <総得点>各バンドの交信得点の合計×各バンドのマルチ数の合計×S-KEY係数 ※各バンドの交信得点は以下のとおり 1交信ごとの得点×R-KEY係数 <KEY係数>○S-KEY係数:送出した使用電鍵の名称の文字数により係数を以下のように定める 3文字:0.4 4文字:0.6 5文字:0.8 6文字:1.0 7文字:1.2 8文字:1.4 ○R-KEY係数:受信した使用電鍵の名称の文字数により係数を以下のように定める 3文字:0.4 4文字:0.6 5文字:0.8 6文字:1.0 7文字:1.2 8文字:1.4 <賞典>総得点において 総合1~6位、エリア賞1~3位、ジュニア賞(24才以下)1位、周波数別賞1~3位 ※重複した場合や参加人数が少ない場合は調整する場合があります 関【電子データ】○EXCEL 95以上のEXCELデータ ※EXCELフォーマットはHP参照 ○Cabrillo形式、JARL形式 ※どうしても電子データを提出できない場合は紙ログも受付可 <ログの注意事項>○交信時間は、JSTで提出○サマリーには、送出したコールサイン、移動先JCC/JCG番号または移動場所市町村名(移動運用してコールサインにポータブルを付加させて送出した場合のみ)、

郵便番号、住所、氏名、電話番号(賞典送付の際必要)、連絡先Eメールアドレス、使用電鍵名、年齢(ジュニア賞を希望する場合)、出力(W)、感想等を記載 関○Eメールに必ず添付ファイルとして送付alc_contest@ktm.boy.jp メール件名は送出したコールサインのみ(例:JO1ZZZ, JJ1IZW/4) ○紙ログ:提出先はA1 CLUBのHPにあるコンテスト規約を参照 晴11月11日(月)(発信、消印有効) 関Eメールtestinfo@a1club.org <結果発表>全結果はA1 CLUB HPに掲載。発表冊子はインターネットを見られない方限定で用意。希望者はSASE(サイズは洋形4号長形3号)と84円切手2枚を同封 <失格>本規約に違反した場合 ※コンテスト開催前に自ら発するコンテストナンバーをインターネット等の公的な場所に公開することを禁止。見つけた場合は失格 <移動運用>コンテスト途中の移動地変更は認めるが、同一エリア内に限る。また、賞典のエリア賞は、移動の場合は移動地で判断 <その他>○使用電鍵の名称や規約についての質問などは、問合せ先まで ○今回も規約変更を実施したためコンテスト後規約の不明確な部分などが発見された場合はその取扱いは、コンテスト委員会で判断 ○A1 CLUBのHPで規約の詳細を確認

第36回多摩川コンテスト

◇APOLLO HAM CLUB 10-4-76 晴11月24日(日)13:00:00~14:59:59 関国内のアマチュア局、SWL 周50MHz帯(CW:50.250~50.300, AM/SSB:50.300~51.000, FM:51.000~52.000MHz) <部門>○流域内電信 ○流域内電信電話 ○流域外電信 ○流域外電信電話 ○SWL注1) SWLは流域内、流域外の区別はしない 注2) 個人局と社団局の区別はしない。個人局による参加はゲストOP禁止。社団局による参加はシングルオペレータのみ 注3) 流域内:多摩川に接する市区町、流域外:流域内以外の地域 <コンテストナンバー>RS(T)+市区町等略符号 <市区町等略号>大田区OO 世田谷区SE 八王子市HA 昭島市AK 立川市TA 青梅市OU 府中市FU 調布市CH 日野市HI 国立市KU 福生市FS 狛江市

KO 多摩市 TM 稲城市 IN あきる野市
 AN 羽村市 HM 奥多摩町 OK 川崎区
 KA 幸区 SA 中原区 NA 高津区 TT
 多摩区 TK 流域外 X <呼出>OCW
 「CQ TA TEST」 ○PHONE「CQ多摩
 川コンテスト」 <得点>CW:3点,
 PHONE:2点 注1)同一の呼出符号の
 局とは全てのモードを通じて最初の交信の
 みを得点。ある局と最初にSSBで交信し、
 その局と後刻CWで交信した場合には、
 SSBの交信を得点計上し、CWでの交信
 は重複交信 注2)流域外同士の交信も得
 点計上できる ※必ず全体で一局は流域内
 の局との交信を含む。SWLも同様に受信
 <マルチブライヤー>異なる多摩川に接す
 る市区町、それ以外の地域の1マルチ(最
 大23マルチ) <総得点>得点×マルチ
 ㊦12月24日(火)消印有効 ㊧JARL形
 式のもの郵送かEメールで ※JARL電
 子ログ提出要項に準ずる。サマリーシートは
 VERSION=R1.0で ㊨○郵送:
 〒152-0001 東京都目黒区中央町
 2-16-7 板垣 毅宛 Eメール jk1mgc@
 nifty.com <その他>○JARL主催のコン
 テスト規約に準ずる ○各部門優勝者に
 表彰楯 ㊩提出先にSASEかEメールに
 て。結果希望者はSASE同封(ログシート
 にEメールアドレス記入の方には結果を
 メールでお知らせ 規約や過去の結果は
<http://apollo.c.ooco.jp/>参照

ACC ロケーターコンテスト 2019入賞者

◇The International Award Chasers
 Club (ACC) 10-4-139 ㊦2019年
 6月17日~23日実施 丸数字:順位
 【メンバー部門】①JM1ASM ②
 JI1SMA ③JQ1OQU 【一般部門】①
 JR1DVB/1 ②JS1PXY ③
 JM1DQH/1

2019JAG QSO パーティ&コンテスト

◇ジャパン・アワードハンターズ・グルー
 プ(JAG) 11-4-12 ㊦○コンテスト部
 門とパーティ部門を分離 JQ1ZPH
 (JAG#4001)参加・一般局同士も有効
 ㊧10月5日(土)06:00~6日(日)
 21:00JST ㊨1.9/3.5/7/14/
 21/28/50/144/430MHz帯 ※
 1.9MHz帯以外はパーティ部門も含めて
 JARL制定のコンテスト周波数を使用 ㊩
 すべてのアマチュア局とSWL <参加部
 門>コンテスト部門(得点計算あり)・パー
 ティ部門(得点計算なし)のいずれかで、
 会員局または一般局を以下の各部門 ○電
 話部門 ○電信部門 ○デジタル部門
 ※各部門に別々にエントリー可(最高で3
 部門) <交信相手局>○全アマチュア局
 (会員局、一般局) ○SWL:会員局がお
 こなっている交信の受信のみで、同一局の

連続受信は不可 <コンテストナンバー>
 RST+会員番号(4桁)、一般局はRSTの
 み <呼出>電話「CQ JAGコンテスト」
 「CQ JAGパーティ」○電信「CQ JAG
 TEST」「CQ JAG PTY」㊧JARL形
 式のログを使用。サマリー参加部門には以
 下の例のように記入 ・コードナンバー
 欄:会員番号 ※一般局は空欄 ・名称
 欄:(例)「コンテスト・会員・電話」「パー
 ティ・一般・電信」「コンテスト・会員・
 SWL・電信」等 <得点>クラブ局
 JQ1ZPH(JAG#4001)10点、会員局
 2点、一般局1点 ※同一局との交信はバ
 ンド、モードごとに有効 <マルチブライ
 ヤー>パーティ部門を除き、周波数ごとの
 異なるプリフィックスの数 <総得点>
 パーティ部門を除き、各バンドで得た得点
 の和×各バンドで得たマルチの和 <賞>
 コンテスト部門の上位局に賞状 <参加
 証・ステッカー>○参加者に、QSLカー
 ド大の参加証(ハガキ大の封筒必要)○
 QSOパーティステッカー(コンテスト部
 門参加者にも発行):10局以上と交(受)
 信した書類提出者にステッカー ○サマ
 リー意見の欄に「参加証希望」「ステッカー
 希望」「ステッカー不要」「ステッカー・台
 紙希望」のいずれかを朱書きで記入 ○参
 加証・ステッカーを希望する場合は、住
 所・氏名を記入し84円切手(消費税変更
 後の新料金)を貼った返信用封筒(ハガキ
 が入る大きさ)を同封 ○ステッカーとス
 テッカー台紙の両方を希望する場合は、宛
 名ラベル(手書き可)と切手160円分を同
 封 ㊦11月5日(火)消印有効 ㊧
 〒286-0036 成田市加良部4-22-4-
 103 伊南栄治方 JAGパーティ事務局
 ㊨SASEまたはメール(jm1atf@jarl.
 com) <その他>○書類提出のみ(ス
 テッカーなど不要)の場合は、メールによる
 書類提出を受付。提出先は問合せ先のア
 ドレスまで。ファイルを添付する場合は、
 txt形式またはcsv形式 ○パーティ参加
 者のサマリーシート・ログは、マルチ・得
 点欄が空欄でかまいませんが、サマリー
 シートの交信局数欄は記入 ○参加証・
 ステッカー等の発送は、順位決定後の11
 月下旬以降を予定

第31回電信電話記念日 コンテスト

◇NTT R&D ハムクラブ 11-3-28
 ㊧10月23日(水)18:00~24:00
 (JST) ㊨日本国内のアマチュア無線局
 ㊩OHF帯(1.9/3.5/7/14/21/28MHz)
 OV・UHF帯(50/144/430MHz) ※
 1.9MHz帯は1907.5~1912.5kHz,
 3.5~430MHz帯はJARL主催コンテス
 ト使用周波数帯 <部門・種目(コードナ
 ンバー)>①一般電信 シングルオペHF
 (GCSH), シングルオペV・UHF
 (GCSV), シングルオペオールバンド

(GCSA), マルチオペオールバンド
 (GCMA) ②一般電信電話 シングルオ
 ペHF(GXSH), シングルオペV・UHF
 (GXSV), シングルオペオールバンド
 (GXSA), マルチオペオールバンド
 (GXMA) ③NTT電信 シングルオペ
 HF(NCSH), シングルオペV・UHF
 (NCSV), シングルオペオールバンド
 (NCSA), マルチオペオールバンド
 (NCMA) ④NTT電信電話 シングルオ
 ペHF(NXSH), シングルオペV・UHF
 (NXSV), シングルオペオールバンド
 (NXSA), マルチオペオールバンド
 (NXMA) ※③, ④にはNTTグループ局
 (オペレータがNTTグループの社員, OB,
 その家族のみで構成されるシングルオペ局
 もしくはマルチオペ局)のみ参加可能 <
 呼出>○電信「CQ NTT TEST」○電話
 「CQ NTTコンテスト」 <コンテストナ
 ンバー>RS(T)+下記①~③の電気通信
 番号の内のいずれか+T+N(NTTグルー
 プ局のみ)【電気通信番号】①運用場所
 における固定電話の市外局番(03など先頭
 の0を含む2~5桁) ②運用場所で利用
 のIP電話番号の上位3桁(050) ③運用
 中に携帯しているPHSまたは携帯電話の
 電話番号の上位3桁(070, 080, 090
 のいずれか) ※NTTグループ局が電信で
 ナンバーを送る際は、最後の「N」を数字
 の「9」と混同しないように「/」を付加し、
 「/N」と送信 <運用場所変更>電気通信番
 号が070, 080, 090のいずれかのシン
 グルオペ局に限り、コンテスト中に運用場
 所を変更できる <得点>NTTグルー
 プ局との交信:2点、NTTグループ局以外
 のとの交信:1点 ※同一バンド内における
 同一局との重複交信は、たとえ自局ある
 いは相手局の運用場所や電波型式が異なっ
 ていた場合でも、1交信のみを得点とし、そ
 れ以外は0点 <マルチブライヤー>相手
 局から受信した異なる電気通信番号 <総
 得点>各バンドの得点の和×各バンドで得
 たマルチ数の和 <禁止事項>○クロスバ
 ンド、レピータによる交信 ○コンテスト
 中の電気通信番号の変更 ○マルチオペ局
 の複数地点からの運用 ○コンテスト中の
 運用場所の変更(電気通信番号が070,
 080, 090のいずれかのシングルオペ局
 を除く) ㊧①WEBサイトの「電子ログ作
 成・提出支援ツール」で電子ログ書類を
 WEB提出(推奨)、またはJARL制定の電
 子ログ書類をEメール提出 ②やむを得
 ない場合はJARL制定のサマリーシート・ロ
 グシート(または同形式のもの, A4判,
 ホチキスなし)の郵送提出も可 ③書類は
 いずれか1つの部門種目に提出 ④同一オ
 ペレータが複数の参加局で掛け持ち運用を
 した場合は、同一オペレータが複数の審査
 対象参加局の間で重複しないように、い
 ずれか1つの参加局からのみ審査対象書類を
 提出 ⑤常置場所以外へ移動して運用した

局は運用場所が属するコールエリアを書類に明記(複数のコールエリアにまたがる場合は、すべてのコールエリアを意見欄に列挙) 11月30日(土)Eメール到着もしくは消印有効 ④WEB:電子ログ作成・提出支援ツール <http://www.jarl.com/nttrd/> ○Eメール:denden@jr1yri.sakura.ne.jp ○郵送:〒239-0847 横須賀市光の丘1-1(Y906C) NTT R&Dハムクラブ 釘本健司 <賞> ○各種目で上位の局には賞状 ○①の方法により、有効な交信局数が10局以上の電子ログを提出した局の中から、抽選で2局へ副賞としてUSBIF4CWを贈る。抽選は、有効な交信局数(チェックログ分も含む)10局ごとに一口となる抽選口数制。副賞希望局は意見欄に「副賞希望」と明記<失格事項>JARL主催コンテスト規約に準ずる事項 <結果発表>○12月頃にNTT R&DハムクラブのWEBサイトで公表 ○電子ログ書類提出局にはEメールで通知 ○SASE同封の書類郵送局には郵送で結果表送付 <その他>明記なき事項は、JARL主催コンテスト規約に準ずる ④<http://www.jarl.com/nttrd/>

第2回鶴見川コンテスト

◇横浜鶴見クラブ(JA1YJY) 11-1-64 ④横浜鶴見の地域近郊の振興ならびに鶴見川、支流流域近郊のアマチュア無線局の災害時に備えた電波伝搬・到達エリアの確認、技術、運用ノウハウの向上・研鑽、親睦を深めることを主旨とし実施 ④11月3日(日)09:00~11:59 [Hz・モード・出力]430MHz帯・FM, CW, SSB ※JARL主催コンテスト使用周波数 ※クロスバンド、レピーター、デジピータによる交信、D-STAR, C4FMは無効。出力は50Wまで <参加対象・参加部門(部門種目コード)>開催日時に鶴見川流域内外で相互に交信可能なアマチュア局を参加対象、空中線電力5W以下の局はQRP局部門でのエントリーも可 ○鶴見川流域内:RS ○鶴見川流域内QRP局:RSQRP ○鶴見川流域外:OS ○鶴見川流域外QRP局:OSQRP ※鶴見川流域内とは鶴見川の本・支流に接する市区、鶴見川流域外とは流域内以外をいう <呼出>○電話「CQ鶴見川コンテスト」+コールサイン+移動の場合は(/*) ○電信「CQ TM TEST」+コールサイン+移動の場合は(/*) ※*は移動地のコールエリア番号、移動局はコールサイン送出の際移動符号(1)を送信 <コンテストナンバー>○RS(T)+市区略符号(マルチ) [市区略符号]○横浜市:鶴見区TS, 港北区KO, 都筑区TZ, 緑区MI, 青葉区AO, 神奈川区KN ○川崎市:幸区SA, 中原区NA, 麻生区AS, 高津区TT, 宮前区MY ○東京都:町田市MA, 稲城市IN ○流域外:上記以外の場所での運用X ※第1回

設定を見直し行政管轄・河川格付、支流名に関わらず河川が接する地域を流域内とした <得点>完全な電話での交信:1点 完全な電信での交信:2点 ※同一局とは電信・電話それぞれ1交信ずつ有効(クロスモードは無効) ※流域外局同士の交信も得点 ※必ず1局は流域内局と交信 <マルチプレイヤー>異なる市区略符号(計14マルチ) <総得点>得点の和×マルチの和 ④ログ提出, 移動運用, 情報公開 ○電子メールを推奨:JARL推奨フォーマット(R1.0, R2.0)提出のみ有効。ロギング, サマリーシート作成にはCTESTWINを推奨, MDファイルはクラブHP (www.ja1yiy.com)にて配布予定。参加部門種目コードを必ず記載。郵送の場合はJARL制定または同等様式で用紙はA4判を使用, 手書きのみ郵送受付対象とし印刷したもの, 記録媒体は無効。結果送付希望の場合はSASE同封。電子メール:JARL電子ログ提出要件に準じ添付ではなくテキストで本文に貼付。メール件名は必ずコンテスト名を全角文字にて記載 ※移動局は(/*)記載 例)正:鶴見川コンテスト(スペース)JA1XXX/1, 誤:鶴見川contest, 鶴見川コンテストJA1XXX ④11月16日(土)23:59 サーバertimeスタンプにて判断, 郵送は消印日付有効 ※提出戴いた情報で取得の個人情報, 当コンテストの遂行に必要な範囲でのみ利用 ④Eメール:ja1yiy@jarl.com ○郵送:〒221-0005 横浜市神奈川区松見町2-6-8 阿藤壮一方 鶴見川コンテスト事務局宛 住所, 氏名, コールサイン明記の封書にて送付 ○運用場所は1ヶ所とし移動局はサマリーシートに必ず町名まで明記 ※固定局については特に記載のない場合連絡先住所を運用場所とする ○移動局との交信でログに移動の明記のないものは無効 例) /1 <情報公開>結果公表にコールサイン, 氏名, 運用場所を記載, 了承のうえ参加 <失格事項>○JARLコンテスト規定に準ずる ○本規定独自の項目は横浜鶴見川コンテスト実行委員会にて審査のうえ決定 <結果発表>12月下旬予定 JARL NEWS, CQ誌, クラブのブログ (<http://www.ja1yiy.com/>)にて発表 ○電子メールにてログ提出局に対しては発信元アドレスにPDF形式にて添付し送付 ○郵送にてログ提出局でSASE同封の局に対し送付 <表彰>各部門の上位局へその栄誉を称え以下を贈る 流域内, 流域外:1位~3位に表彰状, 盾。流域内QRP局, 流域外QRP局:1位~3位に表彰状, 1位に盾 ※上位3局の決定にあたり同点の場合は最終QSO時刻の早い方を上位 ④ja1yiy@jarl.comへEメールにて, メール件名の頭に鶴見川コンテストを記載, またはログ郵送先に往復はがきまたはSASE同封の封書にて

第20回全日本CW王座決定戦コンテスト

◇CW友の会 13-4-51 ④11月10日(日)12:00~16:00 <種目>7MHzシングルバンドのみ(クラブ, 個人, パワーの区別なし) <モード>CWのみ <呼出>CQ CW TEST <交信相手>○日本国内の局:国内, 国外の局 ○国外の局:日本国内の局に限る <コンテストナンバー>RST+CW運用可能となった従事者免許年(西暦)の下二桁+キーの種別 <マルチプレイヤー>CW運用可能となった従事者免許の取得年(西暦)の下二桁 例)1989年:89, 1960年:60, 2000年:00 <キーの種別>S:ストレートキー X:ストレートキー以外での参加者(パドル, バグ, コンピューターキーボード等すべて) <得点>交信相手がストレートキー使用者(S)の場合:2点 それ以外の使用者(X)の場合:1点 <得点係数>ストレートキーでの参加者:×13 ストレートキー以外での参加者:×10 <総得点>得点合計×マルチプレイヤー×得点係数 <その他>JARLコンテストに準拠 ④サマリー, ログシートともにJARLコンテストフォーマットに準ずる <電子ログ>JARL形式, ZLOG形式, キャリアログ形式の3種類 ④郵送:〒340-0823 埼玉県八潮市古新田237-15 小澤清次 JR1UF8 ○Eメール:jo1zrw@gmail.com ※Eメールで電子ログ提出をされた局には受付の自動返信をしますので, 2日以内に返信が届かない場合には必ず上記アドレスまで問合せください ④11月30日(土) ④HP:<http://www.jarl.com/jo1zrw/contest.html>

第1回レインボーコンテスト

◇筑南アマチュア無線クラブ(TARC) 14-4-32 ④11月02日(土)00:00~11月03日(日)23:59 ④JARL会員で日本国内で運用のアマチュア個人局で交信局数が20局以上 ※移動運用の場合同一エリア内に限る ④144MHz帯SSB ※JARLコンテスト使用周波数帯144.250~144.500 <呼出>CQレインボーコンテスト <参加部門>○一般局部門(OM, YL) ○メンバー局部門(OM, YL) ※TARCメンバー局, YRBのサポート局を含む <交信方法>通常の交信でRSレポート・市, 郡名(市, 郡ナンバーでも可)が完全なもの ○一般YLとの交信は, RSレポートの後に必ずYLを付ける ○会員YLとの交信は, RSレポートの後に必ずMYLを付ける ○会員OMとの交信は, RSレポートの後に必ずMを付ける <得点>○一般局と交信OM局:1点, サフィックスが2文字コール局:5点, YL局:10点 ※2, 4, 5に該当するYL局はそれぞれを加点扱い, サフィックスに2文字のダブルレターがあ

る局：20点 例) JA*ZZ, JA*AAB, JH*BCC, サンドイッチ・トリプルコール局：20点 ○会員局と交信, OM局(2文字コール局を含む)：20点, YL局：30点 ※1, 3, 4に該当するYL局はそれぞれを加点扱い, サフィックスに2文字のダブルレターがある局：40点 例) JA*ZZ, JA*AAB, JH*BCC, サンドイッチ・トリプルコール局：40点 <特別得点>9月1日より10月31日までの2ヶ月間に運用する事前PR指定特別局との交信は、いずれか1回(バンド・モードは、問わない)、ログの先頭に交信局のデータと得点(20)を記入して良い ※詳細はHP参照 <総得点>交信局数×得点合計 ㊦○期間中、相手局との交信は1回 ○総得点が同数の場合は、交信局数の多い局を上位 ○申請者の移動運用範囲は、国内の同一エリア内に限る ○一般OM局(1点)以外の高得点局との交信は、得点を含めて1行全てを必ず赤文字で記入 <禁止事項>○各クラブ等のロールコール時の交信 ○JQ1YRB, 指定特別局以外のクラブ・記念局等との交信 <失格>電波法の違反行為, 提出書類の不備(当規約を満たしていない, 架空交信の疑い(捏造も含む)のある記録等, ログシート, サマリーシートの欠如)等と重複局, 社団局の交信記録がある場合 <申請条件>○指定のログ作成ソフトを必ず使用し, ログ, サマリーシートをエクセル形式のままメール添付で送信 ※指定外申請書様式では受付ません ※指定のログ作成ソフトは, JL3DGI鈴木様に提供していただいた資料, HPよりダウンロードして利用 ○申請は, JARL会員であること, メールアドレスはJARL.COM以外は対応しません ※ログ作成ソフトは, 自動で得点を集計, チェックリストの添付は不要 <参加条件>下記の条件を十分に理解のうえ参加。ペーパー印刷による情報提供は一切せず広報活動は, HP・掲示板等の活用で費用の削減を図り対処 <入賞者>一般局部門, メンバー局部門(OM, YLの区分けを含む)の4部門 ①サマリーシートの総得点をもとに採点し各部門ごとに高得点の方より順位を決め全国を対象に参加者が, 1局~10局までは第1位を, 11局~100局までは第3位まで, 101局以上は第5位まで ②一般局を対象に, ①で得た順位をもとに, 各エリアごとに仕分けをおこない順位を決め参加者が, 1局~10局は第1位を, 11局以上の場合は第2位までの対象に交付 ③メンバー局は, ②を適用しない ④一般局部門の入賞者に対する表彰状は基本的にPDF形式の物をメール添付で該当者に配信, ペーパー印刷の賞状を希望の方は, 600円相当の切手(120円切手5枚)を同封して書面で郵送申告 ○メンバー局部門の入賞者には, ペーパー印刷の表彰状を郵送 <表彰状>A4判で写真用

印画紙を使用しパソコンによるインクジェット印刷 <発表>2020年2月末までにHPで ㊦Eメール(tarc@ham.nifty.jp)のみ受付 ㊦12月05日(木)23:59分まで ㊦Eメール:tarc@ham.nifty.jp) ㊦https://jq1yrb-naja.jimdoфри.com

第18回ライオンズQSOパーティー

◇高崎ニューセンチュリーライオンズクラブ 16-4-24 ㊦10月6日(日)UTC00:00~UTC24:00(世界ライオンズ奉仕デー) ㊦全てのアマチュア局とSWL ㊦80/40/20/15/10, 任意の周波数帯のうち一つ追加の計6バンド, 全てのモード <呼出>「CQ Lions QSO Party」または「CQ Lions」 <クラス>①ライオンズ会員 ②非会員 それぞれ a:個人(全周波) b:グループ(全周波, 一つの送信機) c:SWLの各クラス <得点>非ライオンズ:1点 ライオンズ:5点 ライオンズ特別ステーション(JO1ZYB その他ライオンズの社団局):25点 <マルチプライヤー>ライオンズクラブ, ライオンズ特別ステーションの数, 同じクラブの会員, 特別ステーションと何回交信しても一回としか数えない。ライオンズとの交信があった場合, クラブ名, ライオンズの地区名, QRA, QTHを記録(別紙に記しても可)。得点にマルチを掛けた数が最終の総得点 <賞>○各クラスとも最終の総得点の数による10位までのアワード ○最低1局以上と交信(受信)した書類提出者(最終の総得点には拘らず可)に参加賞発行 ※10位に達するまでに受賞者がいない場合得点の数(マルチを掛ける前の得点)により繰り上げて順位を付したアワードに代える。希望者は, SASE(長3封筒84円)同封 ㊦参加各クラスを明記し, JARL制定サマリー・ログシートまたは同形式 ㊦11月30日(土) ㊦㊦〒370-0068 群馬県高崎市昭和町231-9 大泉会計事務所内 高崎ニューセンチュリーライオンズクラブ JO1ZYB 宛 【第17回結果報告】クラス①a第一位JA0IKP, JH3HYI, クラス②a第一位JA3MZN, その他結果は <http://www.wind.ne.jp/JLARU/> に掲載

2019年群馬2mSSB愛好会マラソンコンテスト

◇群馬2mSSB愛好会 16-4-27 ㊦11月10日(日)00:00~11月19日(火)23:59 JST ㊦144MHz SSB 144.100~144.500MHz <得点>通常のQSOでコールサイン, RS, QTHが完全なものを1局1点 <マルチプライヤー>異なる都道府県の数×運用日数 <総得点>得点×マルチ <条件>○ロールコール中の交信は無効 ○常置場所と同じエリ

ア内の移動は認める ○交信相手は個人局に限る, 社団局は不可 ○同一局との交信は期間中1回のみ有効で重複は認めない。重複があった場合, ログシート2度目の交信記録が載っている頁を全局(50局)無効, マルチも消滅 ○交信局数100局以上の場合, チェックリストを添付。様式は自由, マルチのチェックリストも添付 ○その他はJARLコンテスト規約に準ずる ○参加は30局以上 <表彰>○上位1~3位まで, お楽しみ飛び賞, 県番賞16位, プレビ賞 ○2020年3月の総会の席上で表彰 ○結果通知, 参加賞希望者は, SASE同封(切手120円貼り) ㊦JARL制定のログシート, サマリーシート ㊦11月30日(土)必着 ㊦〒370-2462 群馬県富岡市下丹生1476-2 コンテスト係 土屋勝信(JL1DFB) ㊦[tel/fax]0274-67-3015 [Eメール]jl1dfbt@za3.sonet.ne.jp

第38回京都アクティブコンテスト

◇京都2mSSBers Group 22-4-22 ㊦11月1日(金)00:00~10日(日)23:59 ㊦144MHz帯 SSB <参加部門>○メンバーの部 ○一般局の部 <交信方法>○通常のQSOでRSレポート, 市郡名(京都府内は市区町村名)の交換 ○当グループのメンバーはM(メンバー)を送る ○ロールコール中の交信は無効 ○ログシートへの得点計上は1局1交信のみ有効。期間中の同一都道府県内での交信が有効。京都府外局が, 京都府内での移動運用でおこなった交信は有効 <得点>メンバーYL局:15点, メンバー局:10点, 一般YL局:5点, 一般局:1点 <マルチプライヤー>1運用日数(最高10日) 2京都府内の14市(京都市を除く)10町1村と京都市内11行政区(合計36市区町村) <総得点>得点合計×マルチ1+マルチ2 ㊦○電子ログ ○JARL様式のログ・サマリーシート ○100局以上交信の申請には, チェックリストを添付 ○ログシートの送・受信欄には, RSレポートと市郡名(京都府内は市区町村名, ロギングソフトの独自コードを記入した場合は, 備考欄にロギングソフト名を記入) ○ログシートのマルチプライヤー欄は2つに分け, マルチ1には日数マルチ, マルチ2には市区町村マルチを数字で記入 ○申請は10局以上 ※当グループのメンバーを1局以上含む <JF3YWNについて>第35回までおこなってきたJF3YWNの運用はしません ※50点のボーナス点も廃止 ㊦12月10日(火)消印有効 <表彰>○一般局の部:ログ提出局の1割 ○メンバーの部:3位まで ○各部門とも参加賞のほか, 18位・28位・38位・48位・58位など飛賞あり ○参加賞・結果希望者は84円切手のみを同封 ○入賞者

は当グループ総会で表彰 ㊦〒620-0940 京都府福知山市駅南町1-237 萩原重昭 (JG3GOM) 電子ログ: jg3gom@jarl.com ㊧申請先, または下記へSASEかメールで 〒620-0045 京都府福知山市駅前町343 和田政樹 (JE3LQX) je3lqx@jarl.com <失格事項>○ログシートに記載された中で, 交信局数の重複率が2%を超えて計算されたもの ○特別記念局, 記念局, 社団局との交信が得点計上されたもの ○虚偽の交信記録が記載されたもの ○JARLコンテストの規約に準ずる <その他>本コンテストにログを提出していただくと, 4月におこなわれる3エリアコンテストのBマルチにカウントできます。ふるってご参加お願いします

第31回羽曳野コンテスト 入賞局

◇羽曳野無線クラブ 25-1-40 ㊦ 2019年4月21日実施/参加局数59局丸数字: 順位 () 内: 得点 [電信電話] ○7MHz: 参加25局 ①JA3PYH /3 (2331) ②JH3DMQ (2279) エリア外①JR2AWS (1080) ○50MHz: 参加12局 ①JA3QNI/3 (1406) エリア外 ①JH4SMT/4 (64) ○144MHz: 参加17局 ①JK3DDU (4165) エリア外①JA5UJT/5 (120)

第37回和歌山2mSSB コンテスト

◇和歌山2mSSB愛好会 26-4-22 ◇ ㊦10月1日(火)~7日(月) ㊧国内のアマチュア個人局 ㊨144MHz帯 SSB <得点>通常のQSOにてコールサイン・RSレポート・QTHの交換が完全なもの ※当会々員はメンバーのMを付ける ○当会々員との交信: 5点 ○和歌山県内局: 3点 ○和歌山県外局: 1点 <マルチプレイヤー>○マルチ1: 交信した和歌山県内の市, 郡, 和歌山県を除く都府県支庁 <マルチ2>運用日数 <総得点>得点合計×マルチ1×マルチ2 <表彰>2020年定期総会にて ○会員の部: 1位~3位, 5位, 6位~最終位の間 ○一般の部: 1位~3位 (和歌山特産品進呈), 10位, 20位, 30位 ○一般の部参加の方で, 参加記念品, 結果希望の方は84円切手同封 <その他>8月31日まで会費納入局をメンバー扱い。メンバー表

希望の方は問合せ先に ○移動運用は同一府県内 ○同一局との交信は一回のみ有効 ○コンテスト期間中の運用は同一コールサインとし, 同一人が2以上コールサインを有する方との交信はいずれか一方とする ※判明した場合は無効 ○ローコール中の交信は無効 ○提出ログ等はJARL制定のコンテストログサマリーシート同等様式 ○重複交信を確認したチェックリスト不要, 重複があればそのページ無効 ○同得点の場合は最終交信時間の早い方を上位 ○失格事項: 重複3%以上, 電波法違反した場合, 虚偽の申請と認められる場合 ○異議申し立て等はJARLコンテスト規定に準ずる ○ログ記載方法: 送信欄は, 貴方が相手に送ったコンテストナンバー。RS+和歌山県内局は市・郡名 和歌山県外局は府県名+メンバー局はM。受信欄は, 貴方が相手から受取ったコンテストナンバー RS+和歌山県内局は市・郡名 和歌山県外局は府県名+メンバー局はM ○郵送の方で到着確認希望の方は返信用はがき同封 ※10月1日より郵便料金改定につき注意: 通常はがき63円, 定形郵便物84円 [Eメールで受付諸注意] ○件名: 「2mSSB」の文字を必ず入れる ○JARLコンテスト電子ログ作成ツールをご利用ください http://www.jarl.or.jp/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/e-log.htm ○SUMMARYSHEET VERSION=R1.0をお使いください。URL http://contest.jarl.org/summarymaker_r1.htm ※添付ファイルは不可 ㊦10月31日(木)当日消印有効 ㊧JF3NIM 田中将夫 〒642-0001 海南市船尾237 [tel/fax] 073-482-3202 [Eメール] jf3nim@jarl.com <その他>このコンテストに参加しコンテストログを提出した局は来年4/1~4/7開催の「3エリア2mSSBコンテスト」のBマルチに加点 ※同一バンドモードで何度も交信しカード交換を済まされている場合必要以外のカード交換を自粛しませんか

第26回2mSSBグループ 福岡マラソンコンテスト

◇2mSSBグループ福岡 40A-1-21 ㊦10月7日(月)00:00~10月13日(日)24:00 ㊧日本国内のアマチュア局 <交信局>国内アマチュア無線局(記

念局を除く) ㊨144MHz SSB <参加局の区分>○会員局の部(2mSSBグループ福岡の会員) ○一般局の部 <呼出>「CQ福岡マラソンコンテスト」 <コンテストナンバー>○会員局: RSレポート+M(メンバー) ○一般局「RSレポート」 <得点>○一般局が会員局と交信: 5点 その他の交信: 全て1点 ○コンテストナンバーが完全にされた交信で, 毎日00:00JST~24:00JSTの間の交信は得点 ※日付が変われば, 新たな交信とし得点できる <マルチプレイヤー>交信日数 <総得点>交信で得た得点の合計×交信日数 <表彰>①会員局の部: 1~3位 ②一般局の部: 1~3位 ③DX賞(最遠距離交信局の交信距離をログに明記) ※同日, 同一移動地の運用については, 代表1局のみの申請 ④同得点の場合, 最終交信日時の早い局を上位 ⑤ログ提出局はHPへ掲載, 入賞局は総会にて表彰 ⑥ログ提出局のうち, ①②各部門7位・10位・15位の局には記念品 <禁止事項>○異なるモードとの交信 ○クロスバンド交信 ○指定された周波数外での交信 ○ローコールでの交信 <失格事項>○規約違反 ○提出書類不備 ○虚偽の記載 ○その他は, JARLのコンテスト規約に準ずる ㊧交信ログ, サマリーシート ※Eメール可 ㊦10月31日(木)必着 ㊧事務局 〒800-0218 福岡県北九州市小倉南区沼新町2-6-14 平田利彦 ☎090-1088-2518 ㊨jg6mfd@jarl.com

2019年十勝クラブ コンテスト入賞者

◇十勝アマチュア無線クラブ(JA8YAD) 01E-1-1 ㊦2019年5月18日~19日実施 【管内】○7MHz: 優勝JF8RNL 準優勝JH8KOX ○21MHz: 優勝JE8CXM ○144MHz: 優勝JI8AAJ 準優勝JR8XGM 3位JG8MQL ○430MHz: 優勝JR8MUP ○マルチ部門: 優勝JA8XCV 準優勝JE8UHY/8 3位JE8FYE 【管外】○7MHz: 優勝JA7BEW 準優勝JG2MIZ 3位JH7VUD ○21MHz: 優勝JR8FNO 準優勝JP3UBR, JJ2SQJ ○144MHz: 優勝JI5SAO ○430MHz: 優勝JA8IBU マルチ部門: 優勝JJ8XNP 準優勝JG6OZC 3位JI11IF

QSP

会員の情報広場

本欄では、JARL会員の皆様のおこなう行事等を掲載しています。次号「冬号」の原稿締切りは、11月20日となっております。

○申請用紙はJARL様式のコンテストログ、サマリーシートを使用(プリントアウトした場合もJARL様式に準拠、1頁50局以下。両面印刷のログは無効) ※JARL様式以外の申請用紙は返却 ○コンテストログの送信欄に自局の運用地(市・郡ナンバーでも可)、受信欄に交信相手局の市、郡名(市・郡ナンバーでも可)を必ず記入 ○異議申立て等はJARLに準拠書<Eメール>○当クラブ推奨専用ソフト使用のみ受付可 ○受付送信をしますので、返信のない場合は問合せ ○件名に「SHC」の文字を入れる <郵送>JARL様式または同等様式(サマリーシート、ログシート) 日本国内のアマチュア個人局で交信局数が20局以上 12月10日(火)当日消印有効 <発表>令和2年1月下旬予定、当クラブHP <参加賞>○コンテスト参加者は、コールサイン・住所・氏名を明記、成績結果表、参加賞の必要な方は、未使用300円分の切手を同封し、SASEで事務局まで ※詳細は当クラブHP参照 ○コンテスト規約とメンバーリストの希望者は、コンテスト委員へSASE または、jk3hys@jarl.comまで ○コンテストソフトはHP (<http://jl3yyk.sakura.tv/>)から、ダウンロード 日本国内のアマチュア個人局 実行委員 〒636-0226 奈良県磯城郡田原本町唐古237 JK3HYS 戸田武伸 宛 ☎090-9047-0990、0744-32-8824 (12:00から20:00の間)

第11回FCWA CW QSOパーティー

◇福島CW愛好会(FCWA) <目的>○CW交信の活性化を図り、各局との交流を深める ○JA7SSB 齋藤醇爾氏の功績を称える 12月7日(土)9:00~21:00(JST) 日本国内のアマチュア個人局 1.9MHz~28MHz(10/18/24MHz帯を含む)CWのみ <参加部門>○一般部門(出力は局免範囲内) ○QRP部門(出力5W以下) <呼出>CQ FQP(通常の交信可) <交換ナンバー>RST+オペレーターネーム(例:599KAZU) <交信相手>全世界のアマチュア局 <得点>RST+オペレーターネームが交換された完全な交信1点 ※バンドが異なれば同一局でも得点 <マルチプレイヤー>なし <総得点>各バンドの得点の和 日本JARL形式の電子ログをメールに添付して提出(件名はコールサイン) ※様式が同じであれば、エクセル、ワードなどで作成した電子データも可 ○郵便で提出する場合は、JARL制定のサマリーシート、ログシート(準拠書式可) ☎〒966-0108 喜多方市熱塩加納町相田字大森乙1246-152 畠恵治

(JH7UBC) ○Eメールjh7ubc@jarl.com 12月31日(火)消印有効 ☎jh7ubc@jarl.com <結果>ログ提出者と結果はFCWAのWebページ(<http://fcwa.html.xdomain.jp/>)に発表 <表彰>一般部門は上位5局、QRP部門は上位3局をFCWA総会時に表彰。同得点の場合は、交信終了時間の早い者を上位

ETC

チェックイン賞のご案内

◇2mSSB DXクラブ チェックインの数が最低10回から20回に変更。144MHzは1エリアから西方面JL1NFO松本と北方面JS1VFO飛田さんが活躍。さらに西方面をJA3VGL沖野さんに北方面をJJ7JII志賀さんにセンターを毎週木曜日にやっていただきます。7MHz偶数月JL3APM、奇数月JA7EXM、3.5MHz第1週JL1NFO、第2週JE2RZS、第3週JG1EOG、第4週JJ7JII、第5週JO1XGDはそのまま継続。144MHzに中間センターとチェックインの数が最低20回以上に変わりましたのでお知らせします

和文局リスト第26版完成

◇ハムフェア和文電信同好会 「和文局リスト第26版」完成しました ○第25版同様、和文電信で実際に交信した局で、現在も免許を有する局を主体 ○和文電信局3461局のコールサインと名字、住所(区、市、郡まで)等掲載 ○付録は電信同好会・クラブなどの情報 1,500円(送料込み) ※送金方法等は申込み後ご連絡 ☎「和文局リスト第26版」を希望の方は、メールもしくは郵便で 〒178-0063 東京都練馬区東大泉3-30-4 渡辺 顯(JH1SFY) [Eメール]jh1sfy@jarl.com ※次の第27版発行は2年後(2021年)です

パラボリアンテナで音をとばそう

◇JH4WUI 吉崎秀一 2019年5月3日、岡山県生涯学習センターサイビア主催の「春のサイビアフェスティバル」に参加し、「パラボリアンテナで音をとばそう」と題したパラボリアンテナ2面を使った音声伝送実験をおこない、青少年と保護者の方々約150名に不思議な音の伝わりを体験をしていただきました。パラボリアンテナからの音は、ある特定の位置・高さでのみ聞こえること、また、パラボリアンテナで反射した音は、ピンポイントで音が聞こえることを体感していただきました。見事にピンポイントで音をとらえた方はすごく驚き満面の笑顔でした。今後も、草の根の不思議を探る活動を続けます。

コンテスト

第32回エスカルゴ6mCWコンテスト結果

◇エスカルゴ(SCALG) 2019年7月15日実施 【部門別エリア第1位】①固定局:JK1JHU, JI2GVL ②固定局QRP:7N3JIT ③移動局:JR1MEG/1, JE2HXL/2, JH4JUK/4 ④移動局QRP:7L2LEG/1, JA0EYF/2 ⑥シニア局:JL1CHV, JA2FEA

第1回マラソンコンテスト

◇サバイバル・ハムクラブ(JL3YYK) 令和元年5月1日、新クラブを設立し毎年11月の2mのコンテストを楽しみにされた時間を、新たな思い出作りに船出しました。皆様の参加をお待ちしています 11月10日(日)00:00~20日(水)23:59迄 144MHz SSB <参加部門>○メンバー部門 ○一般部門 <交信方法>通常のQSOでRSレポート・市、郡名(市・郡ナンバーでも可)が完全なもの ○一般YL局との交信は、RSレポート後に必ずYLをつける ○会員YL局との交信は、RSレポート後に必ずMYLをつける ○サバイバルのメンバー局は、RSレポート後にM(メンバー)をつける ※18歳以下との交信は、J(ジュニア)を、RSレポート後に必ずつける <得点>当クラブメンバー局との交信は()内得点 QSO1局につき ○OM局:1点(20点) ○YL局:10点(30点) ○サフィックスが2文字コール:10点(30点) ○サフィックスが2文字でダブルコール:20点(40点) ○トリプル、サンドイッチコール局:20点(40点) ※YL局でトリプル・サンドイッチ・J局は一局に付き加点:10点 ※18歳以下の局に、J:5点 <マルチプレイヤー>コンテスト期間中の運用日数(最大11日) <総得点>交信局数×得点合計×運用日数 <禁止事項>○各クラブのロールコール時の交信は無効 ○クラブコールと特別記念局等との交信は無効 <失格>○電波法違反、提出書類の虚偽記載(架空交信は無効) 期間中1局は1回のみカウント ○申請者の移動範囲は、日本国内自由 ○当メンバー局、YL局、トリプル、ダブル、サンドイッチ局、2文字局、J局は必ず朱書き。1点の局以外は、得点を含めて一行を必ず朱書き(マーカーで色づけするか、赤線を引くことにて可)